



## 伝統をつないで45回

11/1 堀金1周駅伝大会

第5回安曇野市堀金1周駅伝大会（堀金公民館主催）が11月1日に開かれました。この駅伝は、旧堀金村時代から通算すると45回目となる伝統の大会で、小学生から60代まで130人のランナーが力走しました。コースは10区間17.3km。スタートの号砲とともに第一走者が勢いよく駆けだすと、一斉に大きな声援が送られました。優勝は田尻分館チーム。アンカーを走った永井瑠海さん（堀金中1）は、「いい走りです優勝に貢献できた」と笑顔でした。



## ワークショップの進め方を学ぶ

10/26 男女共同参画ステップアップ講座

男女共同参画講座（市・男女共同参画連絡協議会主催）が10月26日、県安曇野庁舎で開かれました。最終回となる今回は、推進にかかわる団体のメンバー31人が参加。上田市の「女と男（ひととひと）上田市民の会」を招き、ワークショップ（研究会）の進め方などを学びました。参加者の女性（70代）は、「写真を使ったワークショップは初めての体験。口頭でテーマを設けるより話しやすい」と感心していました。市と同協議会では、今後も男女共同参画を地域へ広めるための環境づくりに取り組む予定です。



## もっと知りたい 消防団

11/15 消防フェスティバル

安曇野市消防団（丸山一雄団長）は「秋の火災予防週間」の最終日となる11月15日、豊科サティ東側駐車場で、消防フェスタを開催しました。このイベントは、消防団の日ごろの活動や必要性を多くの人に知ってもらおうと、今年初めて開かれました。

会場には400人が訪れ、ポンプを使った消火体験や煙道体験、消防団の活動を記録したパネルや消防車の展示、音楽喇叭隊の演奏など、親しみやすく工夫された企画を楽しんでいました。

消防車が好きな孫と一緒に訪れた畠山千寛さん（60・穂高有明）は、「日ごろ接する機会が少ない消防団の活動の一部を見ることができました。ご苦労も多いと思うが、地域の安心のためにがんばってほしい」と期待を寄せていました。

## みんなでエコを楽しもう

11/7・8 あづみ野環境フェア

あづみ野環境フェア2009（同実行委員会主催）が11月7日と8日、堀金総合体育館で開かれました。このイベントは、市民一人ひとりが環境について考え、行動するきっかけになることを願って開かれるもので、市と市民の皆さんが中心となって企画、運営などを手掛けました。

昨年に続き2回目となる今回は、市内外から65の個人と団体が参加。活動成果のステージ発表やパネル展示をはじめ、環境にやさしい工作体験などの催しが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

11月7日に新聞紙を使ってペーパーバック作りに挑戦した岡本洋子さん（堀金烏川）は、「身近にあるものを活用することでエコにつながるということが分かりました。家に帰って作ってみたい。少しずつ環境への興味がわいてきた」と意欲を話してくれました。



## 縄文時代の謎を追え！

11/26 塩田若宮遺跡 出土品の整理進む

明科北保育園の建設地で今年6月から7月にかけて塩田若宮遺跡の発掘が行われ、現在その出土品の整理が進んでいます。今回の発掘現場からは、縄文時代後期のものと見られる住居跡や土器・石器などが見つかりました。明科地域には同じ時代の遺跡として、数百体の人骨が発掘された北村遺跡があります。市教育委員会の担当者は「2つの地域が縄文後期にどんな関連があったのかを知るうえでも今回の調査内容は重要」と話しています。なお、調査の結果は、来年度中に報告書としてまとめられる予定です。



## 清流の里でお菜洗い

11/26 野沢菜漬けの準備始まる

安曇野も冬を向かえ、市内各所でお菜洗いの光景が見られるようになりました。11月26日、明科の自然体験交流センター「せせらぎ」前の小川で作業していた滝沢正幸さん（明科中川手）は、「毎年ここでお菜を洗う。流れがあり家で洗うより楽だし、何より水がきれいもいい」と、ご夫婦でお菜洗いに精を出していました。11月中旬から漬物用野沢菜の販売を始めた「旬の味ほりがね物産センター」によると、「今年は気候が暖かいので野沢菜を漬ける時期が例年より遅くなっているようだ」とのこと。清流の里ならではの光景は12月まで続きそうです。